

“人間一家畜一環境をめぐるマイクロ連環系の科学”の構築 ～青海チベットにおける
牧畜語彙収集からのアプローチ

平成 26 年度第 2 回研究会報告

日時：平成 26 年 10 月 11 日（土曜日）（10 時より 19 時）

12 日（日曜日）（9 時より 19 時）

13 日（月曜日）（9 時より 15 時）

場所：AA 研 302 号室

報告者名：星泉（AA 研）

参加者（5 名）：海老原志穂、津曲真一、ナムタルジャ、別所裕介、星泉

10 月 11 日（土）

・ 研究会 10:00 – 19:00（場所：AA 研）

- 夏期現地調査の総括（全員）
- 家畜の名称に関する語彙調査報告（海老原志穂）
- 肉と骨の部位に関する語彙調査報告（ナムタルジャ）
- 語彙データ蓄積のための共同編集用データベース試作版について（星泉）
- データベース試作版の試験運用および語彙項目と写真の同定（全員）

10 月 12 日（日）

・ 研究会 9:00 – 19:00（場所：AA 研）

- 住文化に関する語彙調査報告（星泉）
- 宗教文化に関する語彙調査報告（津曲真一）
- データベース試作版の試験運用および語彙項目と写真の同定（全員）
- 科研基盤研究(B)への応募に関する打ち合わせ（全員）

10 月 13 日（月）

・ 研究会 9:00 – 15:00（場所：AA 研）

- 糞文化に関する語彙調査報告（別所裕介）
- 共同編集用データベース試作版の問題点の検討（全員）
- 次回研究会についての打ち合わせ（全員）

<今回の研究会の成果>

まず、2014 年 8 月に「言語の動態と多様性」プロジェクト（LingDy2）の支援を受けて実施した青海省における語彙調査（2 週間）を振り返り、総括を行った。次に各班に別れた実施した項目別の語彙について写真やビデオによる記録を確認しながら、担当ごとに報告を行った。さらに、今回の研究会に合わせて作成した共同編集用のデ

データベース試作版について説明し、各項目について、チベット語、日本語、発音の入力、写真のアップロードなどの試験運用を行い、問題点を検証した。また、本課題の研究をさらに推進するため、科研費基盤(B)への応募に関して具体的な打ち合わせを行うこともできた。最後に、今後の分担について確認し、次回の研究会の実施内容についても打ち合わせを行った。